

第6回日本バイオベンチャー大賞

大賞にクリングルファーマ

優れたバイオベンチャー企業を表彰する「第6回日本バイオベンチャー大賞」(主催・フジサンケイビジネスアイ)の受賞企業が決まった。

グランプリにあたる大賞に

は、HGF(肝細胞増殖因子)とその分子内断片NK4の医薬品開発に取り組む創薬バイオベンチャーで、難治性疾患を対象とした生物製剤に特化したグローバル製薬企業を目指すクリン



グルファーマ(岩谷邦夫社長=写真、大阪府豊中市)が輝いた。

経済産業大臣賞には、独創的な創薬インキュベータスタイルで抗体医薬を含むタンパク質医薬の開発・事業化を進めているワイズセラピ

ューティックスが、また、文部科学大臣賞には、トリ免疫細胞を用いたモノクロナール抗体製作技術を駆使して斬新な抗体医薬の開発を行っているカイオム・バイオサイエンスがそれぞれ選ばれ、各賞も決定した。

贈賞式は21日、大阪市住之江区のハイアット・リージェンシー・オーサカで行われる。

第6回日本バイオベンチャー大賞受賞企業

	企業名	所在地	受賞理由
日本バイオベンチャー大賞	クリングルファーマ	大阪府豊中市	肝細胞増殖因子HGFとその拮抗阻害剤NK4の医薬品開発
経済産業大臣賞	ワイズセラピューティックス	東京都渋谷区	抗体医薬を含む組替えタンパク質医薬2品目の研究開発
文部科学大臣賞	カイオム・バイオサイエンス	東京都文京区	トリ免疫細胞を用いたモノクロナール抗体作製技術を駆使した抗体医薬の開発
バイオインダストリー協会会長賞	ナノエッグ	川崎市宮前区	ナノカプセル化技術とジェル状外用基材による皮膚再生効果の化粧品、医薬品を開発
フジサンケイ ビジネスアイ賞	リジェンティス	長野県岡谷市	生体内物質(ポリリン酸等)や天然物の新規薬理効果を利用した医薬品、医薬部外品、化粧品の新規原料の開発
近畿バイオインダストリー振興会議賞	バイオ21	沖縄県うるま市	亜熱帯植物のエキスライブラリーから、関連フォーカスDNAチップ応用した機能性化粧品の開発、事業化
大阪科学機器協会賞	ダナフォーム	横浜市鶴見区	前工程を必要としないSmart Amp法による軽便、迅速な遺伝子診断技術を開発

日本バイオベンチャー大賞

バイオテクノロジーをベースに、果敢に新しいビジネスを拓こうとするベンチャー企業の独創的な研究成果、将来性に富むビジネスモデル、斬新なバイオ関連機器・事業の顕彰を通じて、わが国のバイオ産業の振興に寄与することを目的に、フジサンケイビジネスアイが2001年に創設した。贈賞式は大阪で行われ、これまでに36のバイオベンチャー企業を表彰。次代のバイオ産業を担うリードオフマンとして活躍している。

主催 フジサンケイビジネスアイ

後援 経済産業省、文部科学省、大阪府、大阪商工会議所、関西経済連合会、科学技術振興機構、バイオインダストリー協会、近畿バイオインダストリー振興会議、大阪科学機器協会、産経新聞社など